

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	日々の支援の中で支援に対する内容に職員間の意識的な差がある。	新入職員を始め、全職員がケアプランの本来の目的を理解し、支援計画の内容を関係者で共有し統一した支援が実施できるようにしたい。	①個々の力(残存能力)を見極め、それに応じた支援の方法を検討する。	1～6ヶ月
2	26			②状態の改善や悪化の防止のために取り組むことを検討する。	1～12ヶ月
3	26			③これまでの暮らしを継続していくためにその人らしさが反映された個別の工夫や取りくみを検討する。	1～12ヶ月
4	49	利用者の高齢化と重度化に伴い散歩や外気浴の時間がなかなか取れなくなっている。	日常生活の中に散歩や外気浴をもっと多く取り入れ気分転換や近隣との交流の機会を増やしていきたい。	日課計画、支援計画の中に取り込み、気候や天候を考慮しながらフロアのタイムスケジュールとして実施していく。 体力や身体状況等に応じて無理のない支援を行う。	1～12ヶ月
5	35	商店が立ち並び民家が少ない立地環境にある。 災害時には地域の避難所としての役割が担えるよう近隣の方々との協力体制を整えていく必要がある。	事業所の存在や活動等の理解を助け交流を図りながら地域の方参加の訓練を行っていききたい。	区長さん、商店の店長さん等に広報誌を持ってご挨拶に行き、日頃から顔の見える関係作りに努める。 利用者のご家族や運営推進委員さんにも訓練の日時をお知らせし対策や課題を一緒に考えていく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。